

# ウェスト歯科新聞

## 歯医者は痛い時だけ行けばいい？

「歯医者は痛くなった時だけしか行かないよ・・・」

時々、こんな方がいらっしゃいます。

お気持ちはよくわかります。

かつての私もそうでしたから・・・。

イヤ、私は痛い時だって、鎮痛剤のんで我慢していました。

それでもどうにもならなくて、やっと歯医者に行っても、痛みがおさまると通うのをやめてしまったりしてました・・・。

だから、そういう方のお気持ち、よくわかります。

でも、自分が歯医者になってみてわかること・・・それは、そういう方の老後は悲惨だ、っていうことです。

虫歯でも、歯周病でも痛くなった時はかなり進行していると考えて間違いありません。

そんな状態から治療しても、元よりよくなることはありません。

どんなに高い入れ歯やインプラントをしても、自分の歯より優れたものはできません。

自分が歯医者になって、多くの患者様を診させていただいたからこそわかる歯医者の賢い利用法。

それは、「歯医者は健康な時にこそ、健康を維持するために行くところ」

歯を失って後悔しないために、どうぞ半年に1回は定期検診を受けにいらして下さい。

## ★バレンタインデープレゼント！！

今年もやります！

バレンタインデープレゼント！

2月14日にご来院いただいた方先着60名

様に、心ばかりのバレンタインデープレゼントをご用意させていただいています。

ご来院お待ちしております！

### 診療時間

月～木：10:00～21:00/金土日10:00～14:00

昼休み：14:00～15:30/休診日 水曜・祝日

土日、夜間のご予約はお早目に！



## ウェストデンタルクリニック

〒161-0031 新宿区西落合3-1-16 メトロハイツ西落合102

大江戸線 落合南長崎駅A1出口目の前

TEL03-5982-6771/FAX03-5982-6774

<http://www.west-dental.com>

**日曜も午後2時まで診療しています！**



# 患者様からのご質問にお答えします！

## Q1.1度治療した歯がまた虫歯になることってあるの？

残念ながら、あります。  
専門用語では、「2次カリエス（虫歯）」と呼びます。

2次カリエスは、①削って詰めていない部分から虫歯になる場合と②既に詰め物をしてある詰め物の下が虫歯になる場合の2通りがあります。

やっかいなのは、②の方です。

①の場合、見た目や舌触りなどで患者さんご自身が「虫歯かな？」と気がついてご来院される場合も多いのですが、②の場合は、歯に穴があいたりしないので、痛みが出るまでは気がつきにくくなります。

また、詰め物の真下が虫歯になっていると、レントゲンでも発見されないこともあります。  
また、詰め物の下を歯磨きすることはできませんので、ご自分で予防することもできません。

では、どうすれば2次カリエスを防げるのでしょうか？

詰め物の下が虫歯になってしまう原因は、最初に入れた詰め物にあります。

いわゆる銀歯は、入れた時はぴったりでも、時間がたつと金属が劣化して歯と詰め物の間に微小な隙間ができてきます。

とても小さな隙間なので、舌で触っても違和感は全くないのです。  
この小さな隙間から、虫歯菌は歯の中に侵入し、知らない間に虫歯が進行していってしまいます。

2次カリエスを作らないためには、

- ①さびない劣化しない材質の詰め物（金・セラミックなど）を入れる
- ②定期的に検診を受けて、銀歯に隙間ができていないかチェックを受け、できているようであれば早めにやりかえる

ことが重要です。

銀歯を外してみると、中は虫歯で真っ黒に・・・



# 今月のよくできました！

木村 宇里ちゃん



★家庭でできるフッ素塗布「レノビーゴ」入荷しています！

フッ素は歯質を強くして、虫歯になりにくい歯を作ってくれます。  
いつもの歯磨きの後、シュッとスプレーするだけの簡単フッ素塗布。  
お子さんから大人まで使えます。  
¥1500



2012年2月